授業科目	アジア観光文化地理 Ⅱ					単位	2
履　　修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21809J
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP5-2		
担当教員	劉 明						
授業概要	地球規模の大交流時代の到来により、アジアの国と地域を中心に訪日外国旅行者が大幅に増加されている。「アジア観光文化地理Ⅱ」では、映像（教育）を通して、学生たちに東アジア以外の国・地域の地域性や風土人情及び観光資源を認識・理解してもらうことを目標に、授業を進める。 また、海外旅行を通して観光文化地理を研究したいという学生のニーズにより、海外（アジア）旅行の情報提供や調査方法の指導も行う。さらに、グループディスカッションで学生同士の交流を行う。						
学生が達成すべき行動目標	1. アジア諸国の地域性や風土人情を把握することができる。 2. アジア諸国の観光資源を認識することができる。 3. 海外（アジア）旅行の情報を把握することができる。 4. 海外での観光文化地理の調査方法を把握することができる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）			30		20	10	60	
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）								
思考・判断（DP2-2）								
関心・意欲（DP3-1）								
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）			20		10	10	40	
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
示されている4つの到達目標を達成することができると同時に、習得した知識を研究や観光フィールドワークに反映させることができる。	示されている4つの到達目標を達成するすることができる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。	講義	該当部分の復習	30

2	テーマ:フィリピンの観光文化地理 フィリピンの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
3	テーマ:モンゴルの観光文化地理 モンゴルの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
4	テーマ:ベトナムの観光文化地理 ベトナムの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
5	テーマ:カンボジアの観光文化地理 カンボジアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
6	テーマ:ラオスの観光文化地理 ラオスの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
7	テーマ:グループディスカッション グループディスカッションで学生同士の交流を行う。	講義	該当部分の復習	60
8	テーマ:シンガポールの観光文化地理 シンガポールの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
9	テーマ:マレーシアの観光文化地理 マレーシアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
10	テーマ:タイの観光文化地理 タイの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
11	テーマ:インドネシアの観光文化地理 インドネシアの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
12	テーマ:インドの観光文化地理 インドの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
13	テーマ:ミャンマーの観光文化地理 ミャンマーの地域性・風土・観光資源等を学ぶ。	講義	該当部分の復習	60
14	テーマ:グループディスカッション グループディスカッションで学生同士の交流を行う。	講義	該当部分の復習	60
15	総括 ・アジアにおける日本について	講義	総復習	
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	「アジア観光文化地理Ⅱ」を学ぶ意義を理解しておくこと。
テキスト	資料を配布する
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『旅行業実務シリーズ　海外観光資源』(株)JTB総合研究所編集発行
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	①アジアの国・地域に関する新聞記事をよく読むこと。 ②留学生との交流に励むこと。 ③少しでも長く勉強を続けること。 ④よく質問すること。
達成度評価に関するコメント	達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけではなく、(意義のある)意見を発言してくれたり、積極的に質問・提案をしてくれたり、といったことが評価されます。